

1. 大会申込み及び代表者会議

- ① 申込みは各地区事務局長より送付された所定の様式に（又は、県サッカー協会4種委員会ホームページよりダウンロード）、必要事項を記入し、大会要項に記載された宛先へ **E-mail** にて申し込むこと。
また、大会参加料を指定された日時までに要項に記載された県少年サッカー連盟並びに県サッカー協会4種委員会口座へ振り込むこと。
※ 前記2件（申込み、振込み）が、要項で指定された日時までに完了したことをもって受付とする。
※ 受付を完了していないチームは、いかなる理由でも大会出場はできない。
- ② 県ちびっこサッカー選手権大会並びにKYFAフジパンカップ九州U-12サッカー大会鹿児島県大会は、加盟全チームに出場する権利がある。その他の県大会は、地区予選を突破したチーム、または出場要件を満たしたチームに出場権がある。
- ③ 代表者会議には、必ずチームを常時掌握する指導者が出席すること。
出席しない場合（会議開会時刻に間に合っていない）は、棄権とみなす。
※ 代表者会議で共通理解並びに伝達した事項を「確実に」保護者及び選手へ伝えること。

2. 開会式及び閉会式

- ◎ 入場行進／開会式を行う大会（自然災害、コロナ禍の影響を考慮し行わない場合もある。）
 - ・KYFA九州U-11サッカー大会鹿児島県大会
 - ・地区対抗女子U-12大会
- ◎ 開・閉会式のみ行う大会
 - ・砂の祭典杯
 - ・地区選抜大会
- ◎ 開会式を代表者会議で兼ねる又は行わない大会
 - ・鹿児島県ちびっこサッカー選手権大会
 - ・JFAU-12サッカー選手権大会鹿児島県大会
 - ・KYFAフジパンカップ九州U-12サッカー大会鹿児島県大会
- ① 各大会要項に従い、決められた時刻までに所定の場所へ集合すること。
- ② 開閉会式は原則としてユニフォームで参加すること。（ただし天候により変更もありえる。）
- ③ 入場行進前の整列は、各チーム指導者が行うこと。整列後、指導者は速やかに所定の場所へ整列し、開会式に参列すること。その際、プラカードを持参すること。（女子大会は不要）
- ④ 代表者会議及び入場行進の前に「リスペクト・フェアプレー宣言」を行う。
- ⑤ 開会式の入場順は、以下の通りとする。
 - I 前回優勝チーム
 - II 抽選番号順（U-11の場合は、1番→32番）前回優勝チームは、優勝旗等を必ず持参すること。
（ア）リスペクト旗、選手宣誓担当、リスペクト宣言担当は、代表者会議において決定する。
（イ）開会式開始時刻に間に合わなかったチームは、不戦敗扱いとする。
- ⑥ 閉会式は、ベスト4チーム並びにフェアプレー賞受賞チームにて行う。
 - ※ フェアプレー賞受賞チームは、代表2名参加すること。
 - ※ 県ちびっこ選手権は、大会優秀選手も表彰する。
 - ※ 開閉会式とも、話を聞く態度を指導しておくこと。（私語、体のふらつきが無いよう 等）

3. フェアプレー

- ① 各大会において、（県少サ連盟規約第44条に則り）規律・フェアプレー委員会を組織する。
- ② 急を要する事案等については、各大会要項通りとする。
- ③ 本大会に参加するチームは、公益財団法人日本サッカー協会の発行した公認指導者ライセンス認定証を有する指導者が1名以上在籍すること。（大会参加申し込み時）
また、鹿児島県少年サッカー連盟配布のADカードを持参すること。（ADカードは、ベンチ及びピッチ内練習時には着用すること。）
- ④ 帯同審判は公益財団法人日本サッカー協会の発行した審判証を持参すること。

- ⑤ ベスト4チームはマッチコーディネートミーティングに遅刻の無いよう連絡事項の確認をすること。

4. 応援及びマナー

◎ 指導者はもちろんのこと、全保護者へ周知徹底させること。

① 「リスペクトプロジェクト」の推進

「サッカーには敵はいない。対戦相手は敵じゃない。自分たちの力をためし、サッカーを楽しむための大切な仲間。試合のはじめに相手の目を見てしっかりと握手する。リスペクトの証しとして。」

審判「子どもたちも一人ひとり立派な選手。しっかり目を見て握手する。いいゲームしようね。」

⇒試合のあいさつは、選手も審判もハンドシェイクセレモニーにて行う。

※ コロナ禍の影響により行わない場合もある。

※ 全員がチェックを受けユニフォーム姿でピッチに入場。セレモニー後、サブは、ビブスを着用しベンチに着席する。

指導者「子どもたちに会う前には、いつも自分を振り返る。子どもたちは大切な相手。ちゃんとしていないと恥ずかしい。スマイルOK！」

「レフェリーがいないと、ちゃんと試合ができない。大切な人。」

⇒ポジティブコーチングに努める。レフェリーの判定を受け止める。

※ 初タイプコーチング・オバーコーチングを避け、的確なコーチングに努め、子どもたちの判断を奪わない。

サポーター・保護者の応援

「コーチはコーチに任せる。レフェリーはレフェリーに任せる。プレーは子どもたちに任せる。

私たちは応援し、見守る。」

⇒めざせベストサポーター！！

※ サポーターの禁止、自分のチームだけでなく相手チーム選手への励まし、賞賛もしましょう。

※ ウェルフェアオフィサー配置大会は、オフィサーの指示に従うこと。(指導者、保護者とも)

注) ウェルフェアオフィサー：こどもの安心・安全を保証する仕事をする人)

・暴力・暴言に対する指導及び規律委員会への報告。(観戦者含む。)

・行き過ぎた指導に対する注意及び規律委員会への報告。

② 応援については、ベンチの反対側または指定された場所で応援すること。

・ ピッチ上の選手と同色のシャツを着ての団体での応援は、審判のジャッジの妨げになるため、別色の上着を羽織るなどして対応すること。

・ 鳴り物やメガホンを使っての応援は、会場責任者の指示に従う。スタンドが設置している場合は、スタンドでの応援に限り許可する。

※ コロナ禍の影響により、応援に制限を加える場合もあります。(大声の禁止等)

③ 駐車場をイス等で確保しないこと。(明らかなマナー違反)トラブルの原因になります。県大会以外のプライベート大会でもマナーを守りましょう。

④ ごみの持ち帰りの徹底。特に、注文した弁当の空容器については、業者へ確実に引き渡すこと。

⑤ タバコの吸殻等の後始末を必ず行うこと。喫煙は施設で定められた場所で行い、指定場所であっても選手に影響のある場所(アップ場所の近く、チームテントの近く等)での喫煙は遠慮すること。

※ 大会役員の指示に従うこと。学校・公共施設敷地内は禁煙です。

⑥ ビデオ並びに写真撮影を行う際は、運営・競技の妨げにならないよう撮影場所を指定する場合があります。役員の指示に従ってください。

5. その他

○ 雷雨等の自然現象や予期せぬ突発的な事故等については、以下により決定する。

・ 会場長及び県少年連盟役員、当該試合の主審による協議の上、チーム(指導者代表)及び関係者へ指示し対処する。(運営委員長不在の場合は、事後報告をする。)

○ 会場設営並びにゴール撤去等お願いする場合があります。ご協力をお願いいたします。

○ 全ての県少年サッカー連盟主催・主管大会において、応援及び選手・荷物運搬に際し駐車する車両には、県サッカー協会4種委員会ホームページにアップしてある「駐車票」(チーム用の駐車票も可)をダッシュボードに提示しておくことを義務付ける。駐車票には、チーム名を必ず記載しておくこと。

各会場駐車場入り口にて役員がチェックし、違反のあったチームは、処分の対象とする。

- コロナ禍の影響により、各会場にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策に協力を要請する場合があります。その際は、役員への指示に従い感染拡大防止に努めてください。

鹿児島県サッカー協会及び鹿児島県少年サッカー連盟主催大会における事故等について、主催者は、その責任を負いません。当該チーム並びに個人の責任において処理すること。

申込書及びメンバー表の記載について

1. 申込書の記載

- チーム名は、日本サッカー協会へ登録している名前を記載すること。
- 地区名、所属地区を記入すること。（鹿児島市 始良伊佐 大隅 南薩 北薩 大島 熊毛）
- 指導者登録記載欄は、監督または自チームに所属しているスタッフを記載すること。その際、失効していないか確認すること。
 - ※ 自チーム所属スタッフとは、当該年度にキックオフに申請されたチーム情報に記載されているスタッフのことである。
- スタッフ欄には複数記入できるが、枠をはみ出さないよう記載すること。
 - ※ 級の欄は保持している JFA 公認指導者ライセンスの級を記載すること。無級は空白でよい。
- ポジションを記載すること。例) GK FP GK/FP 但し、GK/FP はユニフォームがそれぞれ必要。
- ◎ 選手の記載は、ユニフォーム番号の若い順に上から記載すること。
 - ※ 選手チェックがスムーズに行えるよう提出する選手証の印刷も番号の若い順に印刷すること。
- 帯同審判は、自チーム所属審判員に優先順位をつけて記載すること。
 - ※ 虚偽記載は処分の対象となる。
- 監督の E-mail アドレスが無い場合は、育成会の代表者でも可。（氏名、電話番号は監督用）

2. メンバー表の記載（本部提出時）

- メンバー表は全て記入後、選手証と一緒に 30 分前迄に会場担当（本部）へ提出する。
 - ※ 試合時間 30 分前までに提出がない場合は出場を認めない。
 - ・ 先発選手は、背番号に○印をつける。
 - ・ 欠席選手は、名前を横 2 本線で消すこと。
 - ・ 使用するユニフォームを○で囲む。（FP・GK とも シャツ・ショーツ・ソックス）
 - ・ ベンチ入りする監督、コーチの役職を○で囲む。
 - ・ 試合開始 10 分前に顔チェックを受ける。
 - ※ チームスタッフ欄に記入されていない関係者はベンチに入ることはできません。

3. ベスト4進出チーム

- 最終日は、メンバー表を 5 枚（／1 試合）作成すること。
- マッチコーディネーター（試合前確認打合せ）ミーティング時に、5 枚持参すること。
- 打合せ迄に、必要事項（ユニフォーム等）を記入し提出すること。
 - ※ 準決勝のユニフォームは、準々決勝終了後、当該チームと審判団の協議で決定します。準々決勝終了後、本部にユニフォームを持参すること。

この大会に参加申込みをすることで記載した個人情報、大会運営に関してのみ使用します。なお、記載事項には代表者が責任を持つこと。虚偽記載には厳しく対処いたします。

〈追記〉

1 競技上の注意について（審判部）

- (1) 当該年度の新規則の適用は J F A U - 1 2 サッカー選手権大会鹿児島県大会から行う。
- (2) 主審およびその他すべての審判員の決定は、常にリスペクトされなければならない。
- (3) 貼り選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズ（番号はユニフォーム規定どおりの大きさ）のものとする。

- (4) 手書きによる貼り番号も認める。貼り番号を作成する時は、生地の色は問わないが、該当する選手が複数名いる場合は、その生地の色は全て同じとする。生地を4辺を縫ったもののみ使用を認める。(縫い目に指が入らないように確実に縫い付けること)
- (5) 交代について、入場が早かった際に審判員が確認した場合には警告を与えられる事もあり得る。防止策として、交代要員の着ているビブスを用いて、退く選手が交代ゾーンから確実に出たあとにフィールド外にてビブスを受け渡したのち交代要員がフィールドに入る。(防寒着を着用する場合もユニフォームの上にビブスを着用すること。)
- (6) 延長戦について
- 延長戦がある場合は、その前に両ベンチ前で3分程度の休憩(ベンチイン可)をとることができる。(ハーフタイムのインターバルでは、短時間の水分補給時間を取ることが認められる。)
- (7) 試合の勝者を決定する方法(PK方式)においてFPがGKに代わる場合のユニフォームについて
- ① チーム戦術として意図的に交代する場合
FPと同じ番号の試合に登録されているGKユニフォームのシャツ
 - ② 緊急避難的にFPがGKに代わる場合
緊急避難的対応なので、FPと同じ番号のサブユニフォームでも可、同じ番号でなくても可、区別される色であるならユニフォームは問わない。また、FPとGKユニフォームの交換でも可。いずれもシャツのみでOK。
- (8) その他
- ① 審判員の靴について、審判員が通常着用するシャツの黒色と同様に黒を基本とした靴とする。
 - ② 審判員のタイツについて、体調管理のうえで着用は審判員の判断に任せる。但し、純然たる黒色のみ(柄、ライン等ないもの)とする。

2 競技規則補足 (競技運営部)

- (1) ユニフォーム正副2組を持参しているか本部でチェックを受けること。
- (2) ユニフォームの決定について
- ① チーム間で事前協議を行う。
 - ② 整わない場合は本部にて調整し、主審が最終決定する。
- (3) 急きょGKがインフルエンザ等で不在となる場合、各地区委員長を通して連絡することで、その日に限り、他のFPがGKの背番号へ変更することができる。(メンバー表の背番号を二重線で見えるように修正すること)。
- (4) 本部からピッチに向かって左側が番号の若いチームベンチとする。
- (5) 控え選手は試合中の両チームと違う色のビブスを着用すること。
- (6) ピッチ内練習は、前試合のインターバルとする。1試合目のチームはインターバルの時間分を任意の時刻から試合前に行うことができる。
- (7) 帯同審判員は、会場到着後、直ちに審判証を提示し確認を受けること。
- (8) 帯同審判は申込書に記載された者が行う。緊急時には各地区委員長を通じて連絡すること。
- (9) 試合当日の流れ
- ① 審判証の提示
↓
 - ② 対戦相手とユニフォーム協議
↓
 - ③ ユニフォーム正副2組を本部でチェック
↓
 - ④ 申込書と選手証の提出 ※試合開始30分前までに
↓
 - ⑤ 顔チェック ※試合開始10分前